科目名	作品制作			担当講師	高橋　学
講師実務経験	映画会社取締役、映像会社代表				
対象学年	2　学年	対象専攻	ビジュアルクリエイト専攻	授業形態	実習
期　間	5期・6期	総授業回数	13　回	1回あたりの授業時間	270　分

期	修　得　目　標
5期	作品作りの基礎を修得する。
6期	作品作りの技術を修得する。

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月18日	授業ガイダンス
2	4月25日	プリプロダクション①～企画を立てる
3	5月9日	プリプロダクション②～企画のブラッシュアップ
4	5月16日	プリプロダクション③～シナリオについて
5	5月23日	映像解析①～映画、映像の基礎知識、基礎技術
6	5月30日	映像解析②～映画、映像の基礎知識、基礎技術
7	6月6日	プリプロダクション④～プロットについて
8	6月13日	プリプロダクション⑤～シノプシスについて
9	6月20日	映像解析③～映画、映像の応用知識、応用技術
10	6月27日	映像解析④～映画、映像の応用知識、応用技術
11	7月4日	プリプロダクション⑥～シナハン、ロケハンについて
12	8月22日	プリプロダクション⑦～画コンテ、字コンテについて
13	8月29日	総括
14		
15		

評価方法	作品提出評価（100%）平常点±10点（出席率、提出物、授業態度・取組状況など）
	成績評価方法：C
評価	上記総合評価点　S(100-90)　A(89-80)　B(79-60)　C(59-50)　D(49以下 不可)
テキスト	
注意事項	78時間中27時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	モーショングラフィック			担当講師	水上　志乃/割出直矢
講師実務経験	映像制作会社に6年勤務した後、フリーランスとして活動中				
対象学年	2　学年	対象専攻	ビジュアルクリエイト専攻	授業形態	実習
期　間	5期・6期	総授業回数	7(6)　回	1回あたりの授業時間	135　分

期	修　得　目　標
5期	前期で学んだAEの操作を復習し、定着させる。 使い方の応用を修得する。
6期	学んだ技術を使って、短い作品を作ること構成知識を修得する。

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月19日 4月26日	授業ガイダンス / 作品研究・振り返り / 前期の総まとめ
2	5月10日 5月17日	3D機能とカメラの関係　カメラ操作について　ライト機能
3	5月24日 5月31日	基本的なエフェクトについて
4	6月7日 6月14日	ヌルオブジェクト　／　親子レイヤー　／　エクスプレッションについて
5	6月21日 6月28日	学んだ技術の組み合わせでの表現を考える　作品制作の構想を練る
6	7月5日 8月23日	作品制作
7	8月30日 	作品研究
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

評価方法	作品提出評価（100%）平常点±10点（出席率、提出物、授業態度・取組状況など）
	成績評価方法：C
評価	上記総合評価点　S(100-90)　A(89-80)　B(79-60)　C(59-50)　D(49以下 不可)
テキスト	
注意事項	21(18)時間中8(7)時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	MA実習Ⅱ			担当講師	田苅子　和之
講師実務経験	音楽・番組制作会社勤務				
対象学年	2　学年	対象専攻	ビジュアルクリエイト　専攻	授業形態	実習
期　間	5期・6期	総授業回数	7(6)　回	1回あたりの授業時間	135　分

期	修　得　目　標
5期	MA作業の理解と、付随する特殊用語の習熟、及び、音声・映像に関する知識を修得する。
6期	音声編集、同期関係、作業の向上を目標とし、MA作業の知識と技能を修得する。

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月19日	授業ガイダンス／MAの概要・知識について
2	5月10日	MA作業準備 ／ 整音（1）について
3	5月24日	ナレーション・アフレコの収録 ／ 音楽や効果音の仕込みについて（1）
4	6月7日	ナレーション・アフレコの収録 ／ 音楽や効果音の仕込みについて（2）
5	6月21日	整音（2） ／ ミックス について
6	7月5日	実技習得度判定試験
7	8月30日	定期試験対策 ／ まとめ
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		

評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度（70%）平常点±10点（出席率、提出物、授業態度・取組状況など）
	実技習得度評価時期・方法：6期・実技試験実施による評価
評価	上記総合評価点　S(100-90)　A(89-80)　B(79-60)　C(59-50)　D(49以下 不可)
テキスト	プリント配布
注意事項	21（18）時間8（7）時間中の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	スチール実習Ⅱ			担当講師	高橋　吉之
講師実務経験	カメラ修理会社、写真撮影および編集会社勤務				
対象学年	2　学年	対象専攻	ビジュアルクリエイト専攻	授業形態	実習
期　間	5期・6期	総授業回数	13　回	1回あたりの授業時間	135　分

期	修　得　目　標
5期	マニュアル露出の習熟データ取り扱い方法を修得する。
6期	他者からの依頼、要求を表現できる技術と知識を修得する。

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月19日	授業ガイダンス、昨年の振り返りおよびカメラ操作方法の復習
2	4月26日	画像データの種類、使い分けについて、画像データ取り扱い上のトラブルと対処法
3	5月10日	画像サイズと解像度、データ取り扱い実践
4	5月17日	露出のマニュアル操作習得、露出決定の方法
5	5月24日	撮影実習、マニュアル露出の操作習熟
6	5月31日	光源、光線の種類と見つけ方生かし方、天候や場所、時刻による光の違い
7	6月7日	総合撮影実習、屋外撮影
8	6月14日	補助光、人工光、ストロボ光特有の特徴および注意事項と撮影方法
9	6月21日	光源、光線と構図、露出と表現との関係
10	6月28日	おこりうる機材トラブルと対処方法、カメラ、レンズなどの機材のメンテナンス実技実習
11	7月5日	模擬受発注による作品制作①制作計画立案
12	8月23日	模擬受発注による作品制作②撮影実践
13	8月30日	作品講評および復習、試験対策
14		
15		

評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度（70%）平常点±10点（出席率、提出物、授業態度・取組状況など）
	成績評価方法：B
評価	上記総合評価点　S(100-90)　A(89-80)　B(79-60)　C(59-50)　D(49以下 不可)
テキスト	プリント都度配布
注意事項	39時間中14時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	ENG実習Ⅱ			担当講師	三浦　貴正
講師実務経験	放送局勤務				
対象学年	2　学年	対象専攻	ビジュアルクリエイト専攻	授業形態	実習
期　間	5期・6期	総授業回数	7(6)　回	1回あたりの授業時間	135　分

期	修　得　目　標
5期	ロケや室内でのカメラワーク等の撮影技術を学び,将来のキャリアに役立つ実践的な技術を修得する。
6期	映像表現における理解を深め、クリエイティブな視点や考え方を学び、チームワークの重要性を修得する。

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月20日 4月27日	授業ガイダンス・撮影実習（屋内外）①　撮影・プレビュー
2	5月18日 5月25日	撮影実習（屋内外）②　撮影・プレビュー
3	6月1日 6月8日	撮影実習（屋内外）③　撮影・プレビュー
4	6月15日 6月22日	撮影実習（屋内外）④　撮影・プレビュー
5	6月29日 7月6日	撮影実習（屋内外）⑤　撮影・プレビュー
6	8月17日 8月24日	評価対象実技試験実施　・定期試験対策
7	8月31日	撮影実習（屋内外）⑥　撮影・プレビュー
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度（70%）平常点±10点（出席率、提出物、授業態度・取組状況など）
	成績評価方法:B
評価	上記総合評価点　S(100-90)　A(89-80)　B(79-60)　C(59-50)　D(49以下 不可)
テキスト	必要に応じてその都度、参考資料を配布する。
注意事項	21(18)時間中8(7)時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	無人航空機概論			担当講師	成田　泰士
講師実務経験					
対象学年	2　学年	対象専攻	ビジュアルクリエイト専攻	授業形態	実習
期　間	5期・6期	総授業回数	13　回	1回あたりの授業時間	135　分

期	修　得　目　標
5期	ドローンの操縦に必要な知識（歴史、法律やルール、各種申請方法）や基礎技術（機構や基本操作）を修得する。
6期	ドローンの操縦に必要な基本操作、応用操作を修得する。

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月20日	授業ガイダンス
2	4月27日	機体、送信機の操作・機能、バッテリーの運用等
3	5月18日	ドローンの操作技術を学ぶ②　ホバリング、移動
4	5月25日	ドローンの操作技術を学ぶ③　ホバリング、移動
5	6月1日	ドローンの操作技術を学ぶ④　目視外
6	6月8日	ドローンの操作技術を学ぶ⑤　応用
7	6月15日	法律・ルール
8	6月22日	安全運航管理
9	6月29日	ドローンの操作技術を学ぶ⑥　応用実技
10	7月6日	ドローンの操作技術を学ぶ⑦　応用実技
11	8月17日	ドローンの操作技術を学ぶ⑧　応用実技
12	8月24日	ドローンの操作技術を学ぶ⑨　応用実技
13	8月31日	試験対策
14		
15		

評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度（70%）平常点±10点（出席率、提出物、授業態度・取組状況など）
	成績評価方法：B
評価	上記総合評価点　S(100-90)　A(89-80)　B(79-60)　C(59-50)　D(49以下 不可)
テキスト	
注意事項	39時間中14時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	ストリーミング			担当講師	岡　宏樹
講師実務経験	映像制作会社勤務				
対象学年	2　学年	対象専攻	ビジュアルクリエイト専攻	授業形態	実習
期　間	5期・6期	総授業回数	13　回	1回あたりの授業時間	135　分

期	修　得　目　標
5期	ライブ配信の特徴を理解し、オリジナルの配信番組を制作する技術と知識を修得する。
6期	配信番組の制作を通じてスタッフ間の連携に必要なスキルを修得する。

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月20日	授業ガイダンス オリジナル配信番組の企画①
2	4月27日	オリジナル配信番組の企画②
3	5月18日	オリジナル配信番組の企画③
4	5月25日	オリジナル配信番組の素材作成①
5	6月1日	オリジナル配信番組の素材作成②
6	6月8日	ライブ配信リハ①
7	6月15日	ライブ配信本番①
8	6月22日	オリジナル配信番組試写、修正
9	6月29日	ライブ配信リハ②
10	7月6日	ライブ配信本番②
11	8月17日	ライブ配信リハ③
12	8月24日	ライブ配信本番③
13	8月31日	オリジナル配信番組試写 試験対策
14		
15		

評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度（70%）平常点±10点（出席率、提出物、授業態度・取組状況など）
	成績評価方法:B
評価	上記総合評価点　S(100-90)　A(89-80)　B(79-60)　C(59-50)　D(49以下 不可)
テキスト	
注意事項	39時間中14時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	撮影実習Ⅲ			担当講師	田端　優一
講師実務経験	放送局関連会社勤務				
対象学年	2　学年	対象専攻	ビジュアルクリエイト専攻	授業形態	実習
期　間	5期・6期	総授業回数	7　回	1回あたりの授業時間	270　分

期	修　得　目　標
5期	ロケーション、スタジオに必要な撮影技術全般を修得する。
6期	実践的に制作しながら番組制作技術全般を修得する。

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月14日	授業ガイダンス～企画制作Ⅲに沿った撮影機材の選定
2	4月28日	ロケーション撮影及びスタジオ収録①
3	5月26日	ロケーション撮影及びスタジオ収録②
4	6月9日	ロケーション撮影及びスタジオ収録③
5	6月23日	ロケーション撮影及びスタジオ収録④
6	7月7日	ロケーション撮影及びスタジオ収録⑤
7	8月25日	撮影実習Ⅲ 総まとめ講座～定期試験対策
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度（70%）平常点±10点（出席率、提出物、授業態度・取組状況など）
	成績評価方法：B
評価	上記総合評価点　S(100-90)　A(89-80)　B(79-60)　C(59-50)　D(49以下 不可)
テキスト	資料配付
注意事項	42時間中15時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	編集実習Ⅲ			担当講師	岡　宏樹
講師実務経験	映像制作会社勤務				
対象学年	2　学年	対象専攻	ビジュアルクリエイト専攻	授業形態	実習
期　間	5期・6期	総授業回数	6　回	1回あたりの授業時間	270　分

期	修　得　目　標
5期	映像表現の実践的なテクニックを修得する。
6期	作品のクオリティアップを目指して制作をする技術と知識を修得する。

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月21日	授業ガイダンス 作品制作Ⅰ編集①（素材の取り込み、編集、カラーコレクション）
2	5月19日	作品制作Ⅰ編集②（テロップ、MA、エンコード）
3	6月2日	作品制作Ⅱ編集①（素材の取り込み、編集、カラーコレクション）
4	6月16日	作品制作Ⅱ編集②（テロップ、MA、エンコード）
5	6月30日	作品制作Ⅲ編集①（素材の取り込み、編集、カラーコレクション）
6	8月18日	作品制作Ⅲ編集②（テロップ、MA、エンコード）
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度（70%）平常点±10点（出席率、提出物、授業態度・取組状況など）
	成績評価方法：B
評価	上記総合評価点　S(100-90)　A(89-80)　B(79-60)　C(59-50)　D(49以下 不可)
テキスト	
注意事項	36時間中13時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	企画制作Ⅲ			担当講師	種田　俊二
講師実務経験	元放送局勤務				
対象学年	2　学年	対象専攻	２年ビジュアルクリエイト専攻	授業形態	演習
期　間	５期6期	総授業回数	13　回	１回あたりの授業時間	135　分

期	修　得　目　標
５期	番組の企画・構成の立て方・台本の作り方を実践的に修得する①
６期	番組の企画・構成の立て方・台本の作り方を実践的に修得する②

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月15日	授業ガイダンス（班編成）～番組の企画・構成の立て方
2	4月22日	作品①の企画立案、取材構成表の作成
3	5月6日	作品①のプレビューと構成台本作成
4	5月20日	作品①の試写　作品②の企画立案、取材構成表の作成
5	5月27日	作品②のプレビューと構成台本作成
6	6月3日	作品②の試写　作品③の企画立案、取材構成表の作成
7	6月10日	作品③のプレビューと構成台本作成
8	6月17日	作品③の試写　作品④の企画立案、取材構成表の作成
9	6月24日	作品④のプレビューと構成台本作成
10	7月1日	作品④の試写　作品⑤の企画立案、取材構成表の作成
11	7月8日	作品⑤のプレビューと構成台本作成
12	8月19日	作品⑤の試写　優秀作品発表
13	8月26日	総復習　試験対策

評価方法	定期試験点数(50%)実技修得度（50%）平常点±10点（出席率、提出物、授業態度・取組状況など）
	成績評価方法：B
評価	上記総合評価点　S(100-90)　A(89-80)　B(79-60)　C(59-50)　D(49以下 不可)
テキスト	なし
注意事項	39時間中14時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	就職ガイダンス			担当講師	一岡 永	
講師実務経験	音響会社勤務					
対象学年	2　学年	対象専攻	2年A,B組		授業形態	講義
期　間	5期・6期	総授業回数	13　回	1回あたりの授業時間		45　分

期	修　得　目　標
5期	主体性を持って就職活動を進める上で必要な知識を修得する。
6期	活動の幅を持って就職内定を勝ち取る為のスキルを修得する。

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月15日	授業ガイダンス　応募書類の確認/就職活動計画
2	4月22日	自己PR、志望動機作成対策①
3	5月6日	面接のポイント①/面接対策実践①
4	5月20日	オンライン面接について
5	5月27日	メールの送り方
6	6月3日	作文対策①
7	6月10日	企業研修について（研修書類の説明含む）
8	6月17日	自己PR、志望動機作成対策②
9	6月24日	東京企業について
10	7月1日	就職活動計画の見直し
11	7月8日	面接のポイント②/面接対策実践②
12	8月19日	受験促進、企業情報の提供（各業種）/受験の流れ確認
13	8月26日	作文対策②

評価方法	3分の2以上の出席で「修得済」評価
評価	「修得済」評価（点数評価は行わない）
テキスト	プリント配布
注意事項	13時間中5時間の欠席で修得済評価不可=進級ができません（留年となります）

科目名	時事研究			担当講師	國本　昌秀
講師実務経験	元HTB北海道テレビ勤務（記者・デスク、ディレクター、プロデューサーなど）				
対象学年	2　学年	対象専攻	2年A,B組	授業形態	講義
期　間	前期	総授業回数	13　回	1回あたりの授業時間	45　分

期	修　得　目　標
5期	ニュース・時事問題に関心を持ち、読み解く力を修得する。
6期	ニュース・時事問題を読み解くことで、日常生活の思考・行動に活用する力を修得する。

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月15日	授業ガイダンス・ニュースとは何か
2	4月22日	18歳成人について
3	5月6日	ウクライナ問題について
4	5月20日	沖縄復帰50周年について
5	5月27日	直近のニュースについて
6	6月3日	動物愛護法改正について
7	6月10日	参院選挙について
8	6月17日	直近のニュースについて
9	6月24日	直近のニュースについて
10	7月1日	直近のニュースについて
11	7月8日	参院選挙について
12	8月19日	札幌市100年について
13	8月26日	講義振り返り
14		
15		

評価方法	定期試験点数、平常点±10点（出席率、提出物、授業態度・取組状況など）
評価	上記総合評価点　S(100-90)　A(89-80)　B(79-60)　C(59-50)　D(49以下 不可)
テキスト	各回授業でプリント配布
注意事項	13時間中5時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）